

豊中市公共施設等総合管理計画策定にかかる市民アンケート
結果報告書

1. アンケート調査の概要

調査期間：平成28年（2016年）7月7日（木）～7月29日（金）
 調査対象：市内在住、18歳以上の3,000人（無作為抽出）
 有効回答者数：1,104人（うちWeb回答数98件）
 有効回収率：36.8%

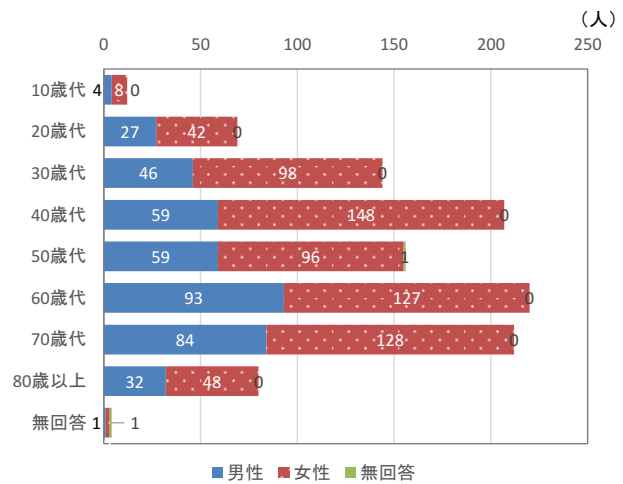
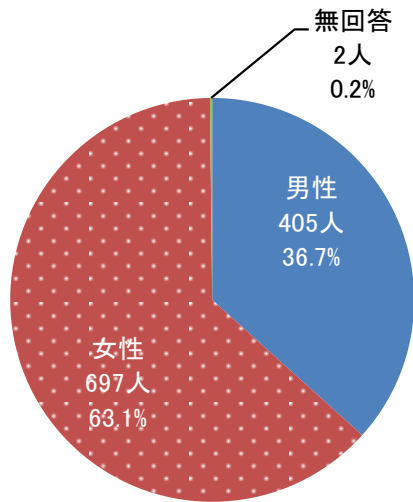
2. アンケート集計結果

I. 回答者の属性

問1. 性別 ・ 問2. 年齢層

男女比は、女性が63.1%と高い回答率となっています。男女別の配布数に対する回答率は、女性が44.4%、男性が28.3%となっています。

年齢は、60歳代の回答者が最も多く、次いで70歳代、40歳代が多くなっています。配布数に対する回答率は、70歳代が53.5%と最も高く、次いで60歳代、50歳代となっています。10歳代、20歳代の回答率は2割以下と低くなっています。

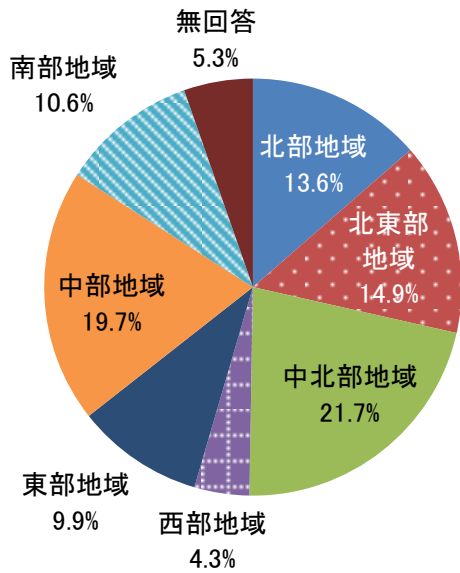


| | 配布数 | 回答数 | 回答率 |
|-----|-------|-------|-------|
| 男性 | 1,430 | 405 | 28.3% |
| 女性 | 1,570 | 697 | 44.4% |
| 無回答 | | 2 | |
| 合計 | 3,000 | 1,104 | 36.8% |

| | 配布数 | 回答数 | 回答率 |
|-------|-------|-------|-------|
| 10歳代 | 65 | 12 | 18.5% |
| 20歳代 | 347 | 69 | 19.9% |
| 30歳代 | 464 | 144 | 31.0% |
| 40歳代 | 589 | 207 | 35.1% |
| 50歳代 | 437 | 156 | 35.7% |
| 60歳代 | 462 | 220 | 47.6% |
| 70歳代 | 396 | 212 | 53.5% |
| 80歳以上 | 240 | 80 | 33.3% |
| 無回答 | | 4 | |
| 合計 | 3,000 | 1,104 | 36.8% |

問3. 居住地域

居住地域は、豊中市都市計画マスタープランの7地域区分ごとに集計を行いました。全体の中では中北部地域の割合が21.7%と最も高くなっており、次いで中部地域(19.7%)、北東部地域(14.9%)となっています。地域別の配布数に対する回答率は、南部地域が27.4%と最も低く、その他の地域は35%前後となっています。

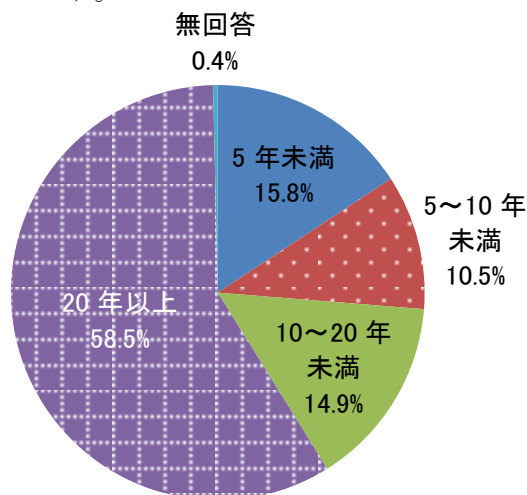


| | 配布数 | 回答数 | 回答率 |
|-------|-------|-------|-------|
| 北部地域 | 405 | 150 | 37.0% |
| 北東部地域 | 446 | 165 | 37.0% |
| 中北部地域 | 647 | 240 | 37.1% |
| 西部地域 | 137 | 47 | 34.3% |
| 東部地域 | 322 | 109 | 33.9% |
| 中部地域 | 616 | 217 | 35.2% |
| 南部地域 | 427 | 117 | 27.4% |
| 無回答 | | 59 | |
| 合計 | 3,000 | 1,104 | 36.8% |



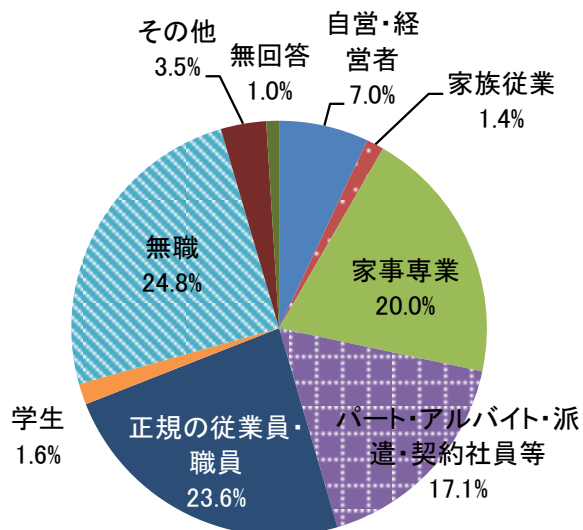
問4. 豊中市での居住年数

豊中市における居住年数は、20年以上の割合が58.5%と最も高く、次いで5年未満が15.8%となっています。



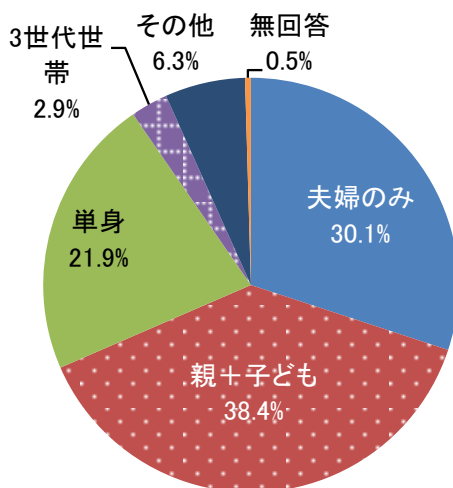
問5. 職業

職業は、無職の割合が最も高く24.8%となっており、次いで、正規の従業員・職員(23.6%)、家事専業(20.0%)、パート・アルバイト・派遣・契約社員等(17.1%)となっています。



問6. 家族構成

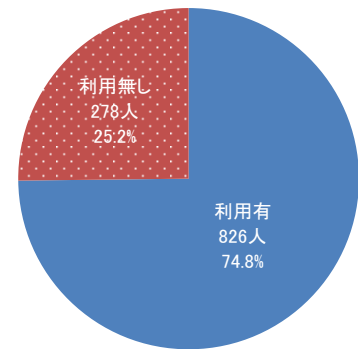
家族構成は、「親+子ども」の割合が最も高く38.4%となっており、次いで、夫婦のみ(30.1%)、単身(21.9%)となっています。



Ⅱ. 公共施設の利用状況について

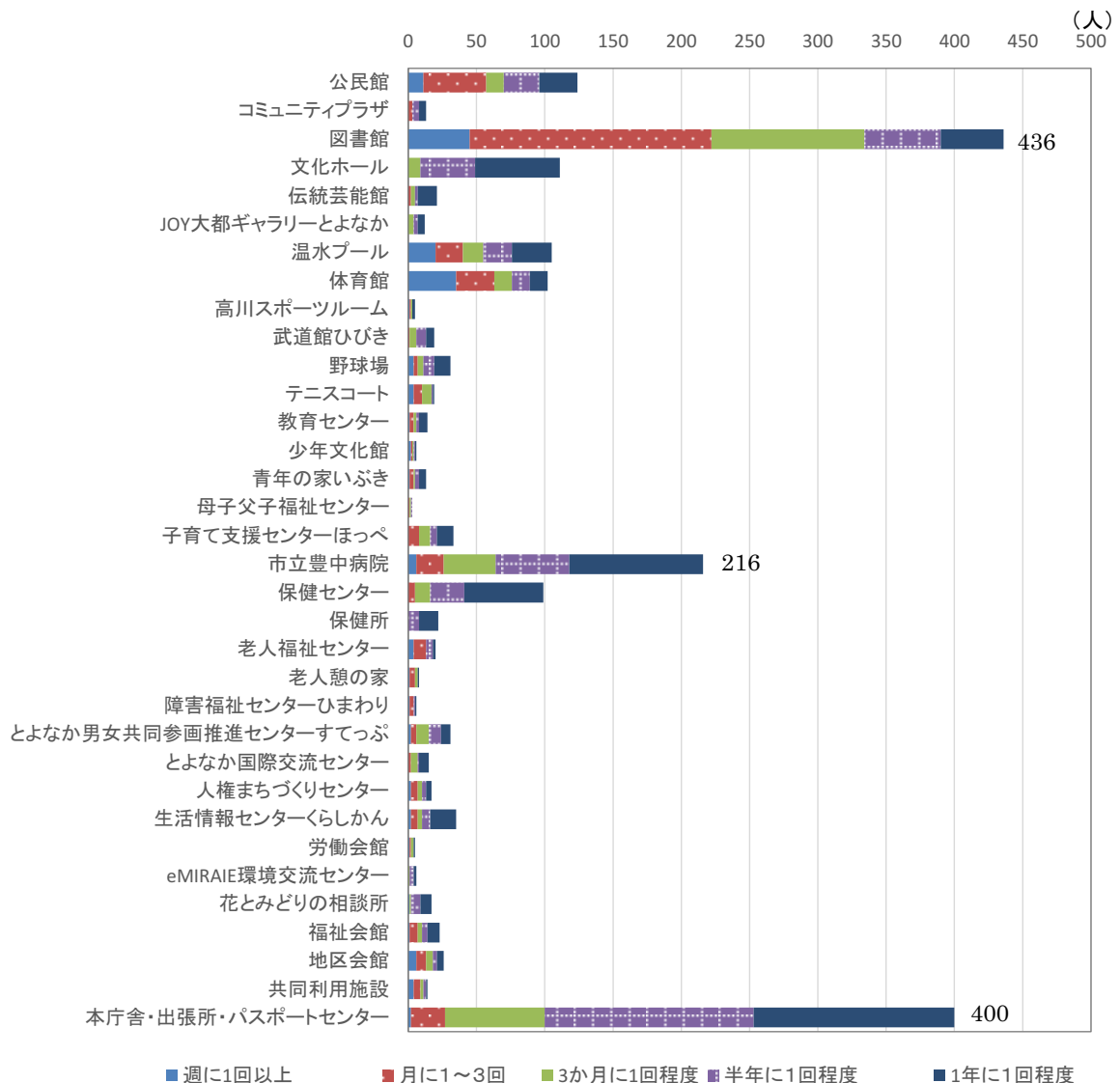
問7. あなたが過去1年間に利用した（または訪れた）公共施設があれば、施設番号とその利用頻度（何回くらい利用したか）をそれぞれ5つまで選んで、回答欄に記入してください。施設番号は次ページの施設リストから、利用頻度は【A～E】から選んでください。まったく利用していない場合は、問8に進んでください。

過去一年間に公共施設を利用した回答者が74.8%、
全く利用しなかった回答者が25.2%と、
4人に1人は公共施設を全く利用していません。



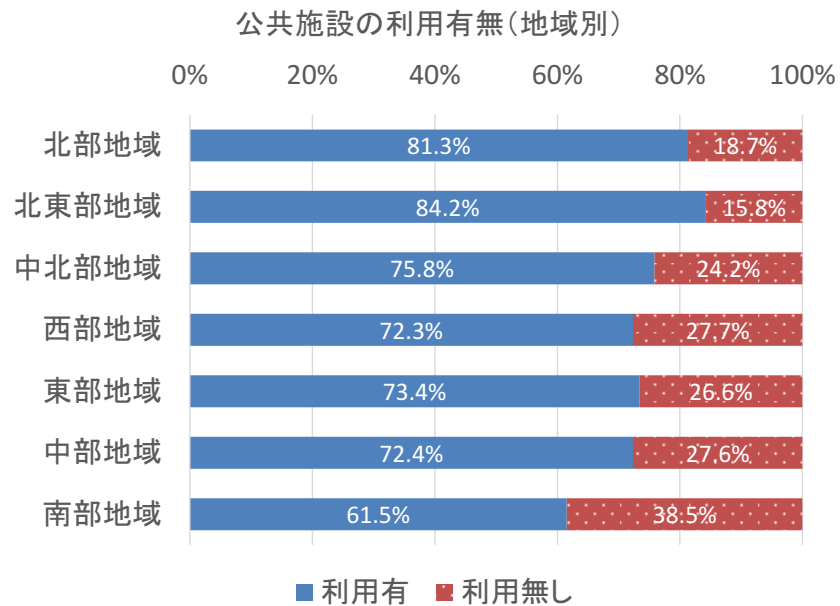
過去1年間に利用した公共施設としては、図書館が436人（回答者の39.5%）と最も多く、次いで「本庁舎・出張所・パスポートセンター」が400人（36.2%）、市立豊中病院が216人（19.6%）となっています。

図書館の利用者のうち月に1回以上利用している人の割合は約5割を占めますが、「本庁舎・出張所・パスポートセンター」のその割合は、約7%となっています。



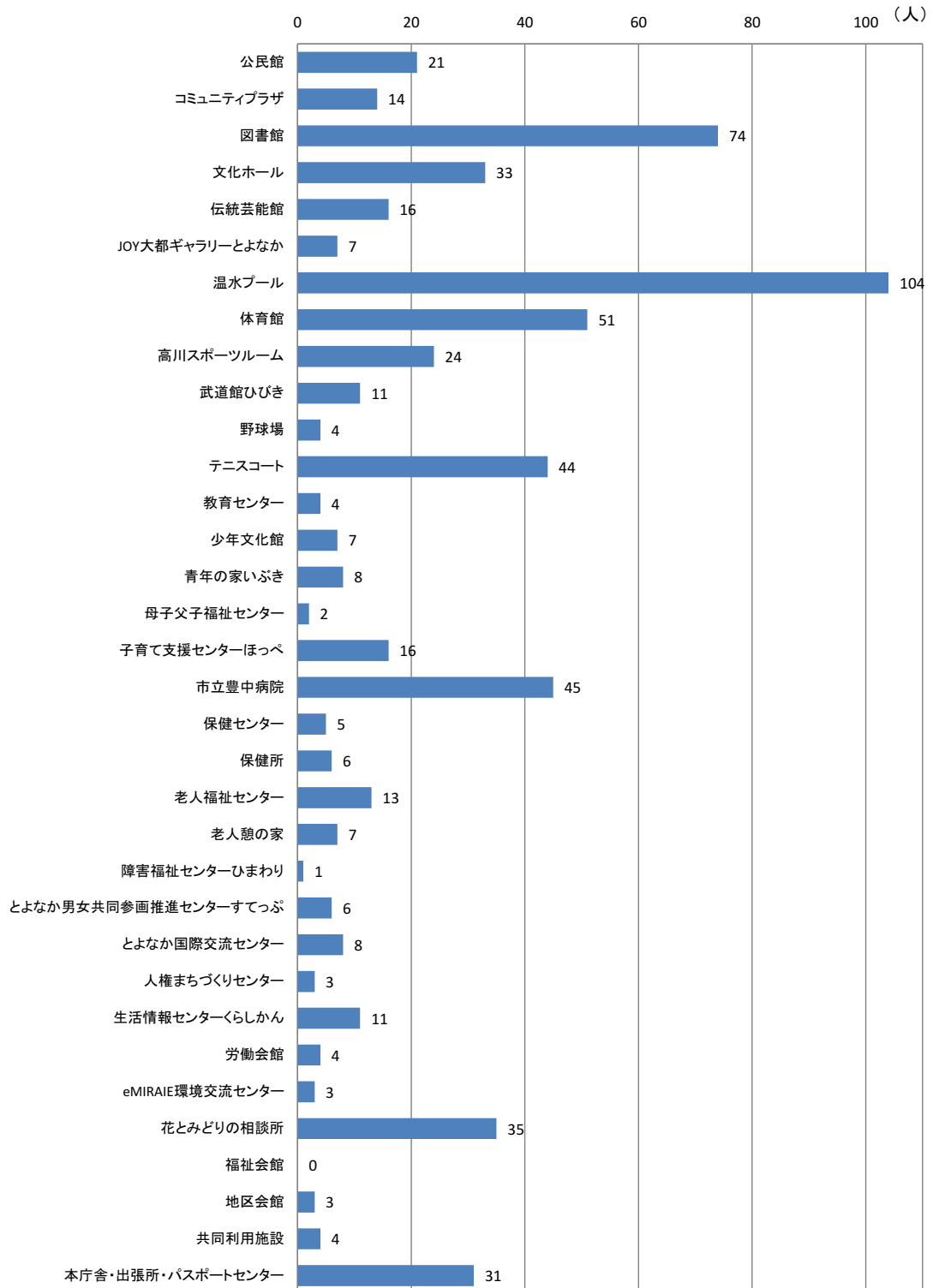
地域別にみると、利用割合が最も高いのは北東部地域（84.2%）で、次いで北部地域（81.3%）となっています。

一方、南部地域の利用割合が61.5%と最も低くなっています。



問8. 利用したいが利用できない公共施設があれば、施設番号とその理由をそれぞれ5つまで選んで、回答欄に記入してください。施設番号は次ページの施設リストから、利用できない理由は【F～M】から選んでください。
 利用したいが利用できない公共施設がない場合は、問9に進んでください。

利用したいが利用できない施設としては、温水プールが104人と最も多く、次いで図書館74人、体育館51人となっています。

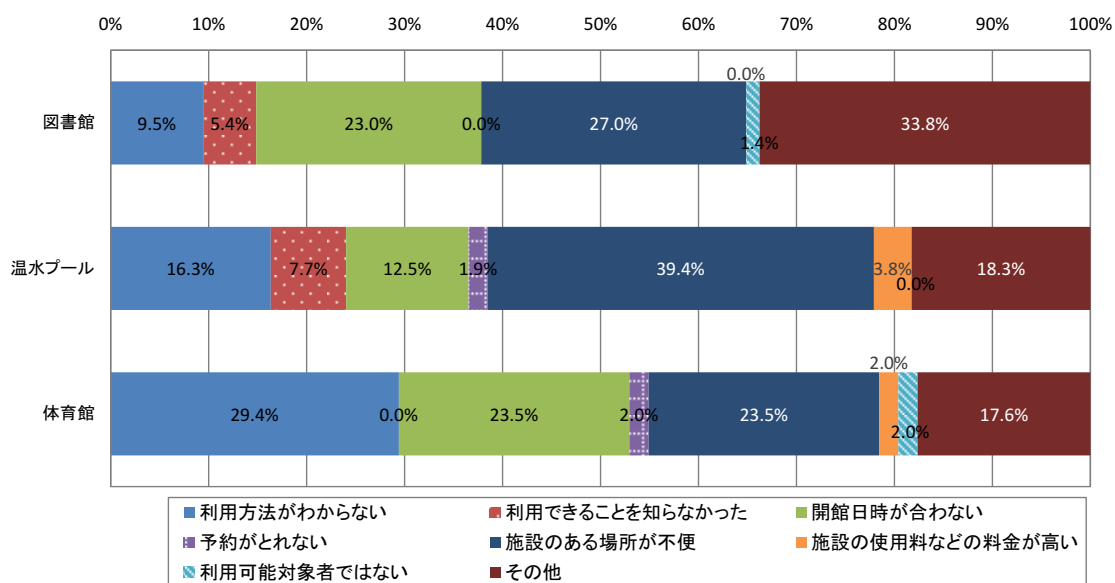


・上位3施設（図書館、温水プール、体育館）の利用できない理由

図書館については、「施設のある場所が不便」の割合が27.0%と最も高く、次いで「開館日時が合わない」が23.0%となっています。「その他」も33.8%と多くなっています。

温水プールについては、「施設のある場所が不便」の割合が39.4%と最も高く、次いで「利用方法がわからない」（16.3%）、「開館日時が合わない」（12.5%）となっています。

体育館については、「利用方法がわからない」の割合が29.4%と最も高く、次いで「開館日時が合わない」と「施設のある場所が不便」が23.5%となっています。

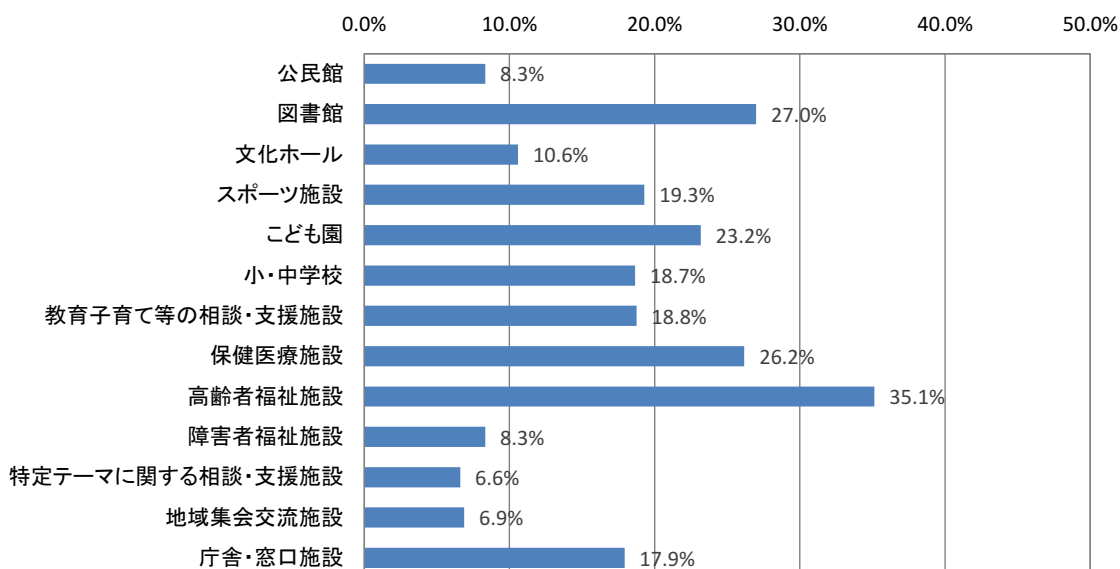


問9. あなたは、今後どの公共施設を優先的に充実させていくべきと考えますか。

あてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

(*印は施設分類です。具体的な施設例は上の施設リストを参考にしてください。

優先的に充実させていくべき施設としては、高齢者福祉施設が35.1%と最も高く、次いで図書館（27.0%）、保健医療施設（26.2%）、こども園（23.2%）、スポーツ施設（19.3%）となっています。

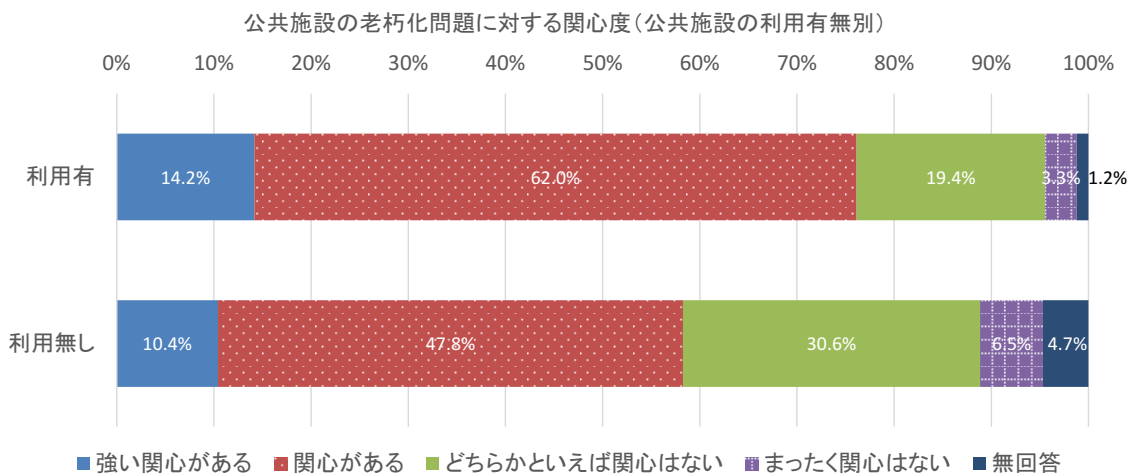
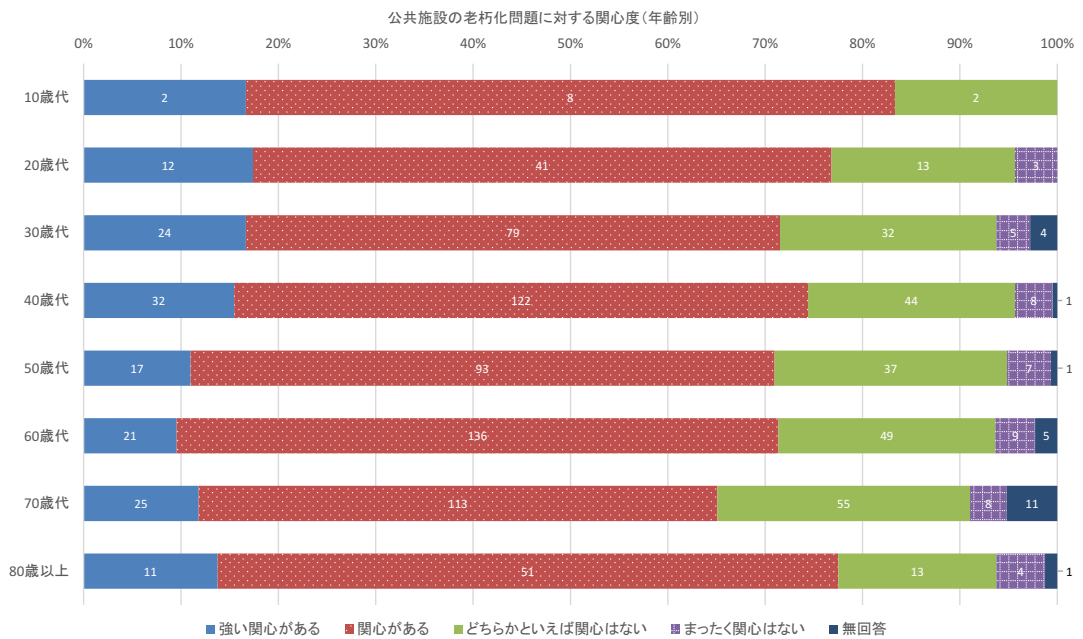
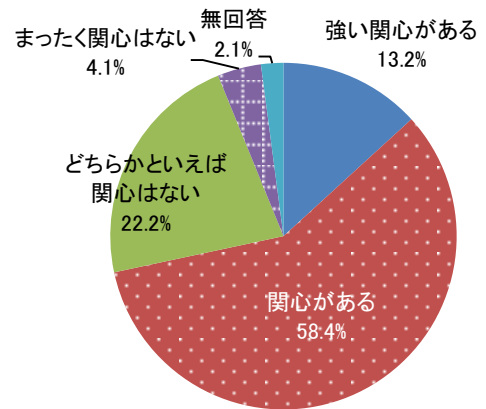


Ⅲ. 公共施設の老朽化問題について

問10. 公共施設の老朽化問題等の課題に対する関心度

「強い関心がある」と回答した人が13.2%、「関心がある」と回答した人が58.4%でした。年齢別にみると、年齢が若いほど若干関心度が高い傾向にあります。

問7の公共施設の利用の有無別にみると、利用履歴の有る回答者の71.6%が関心がある（「強い関心がある」と「関心がある」の合計）が、利用履歴のない回答者のその割合は、58.2%にとどまっています。

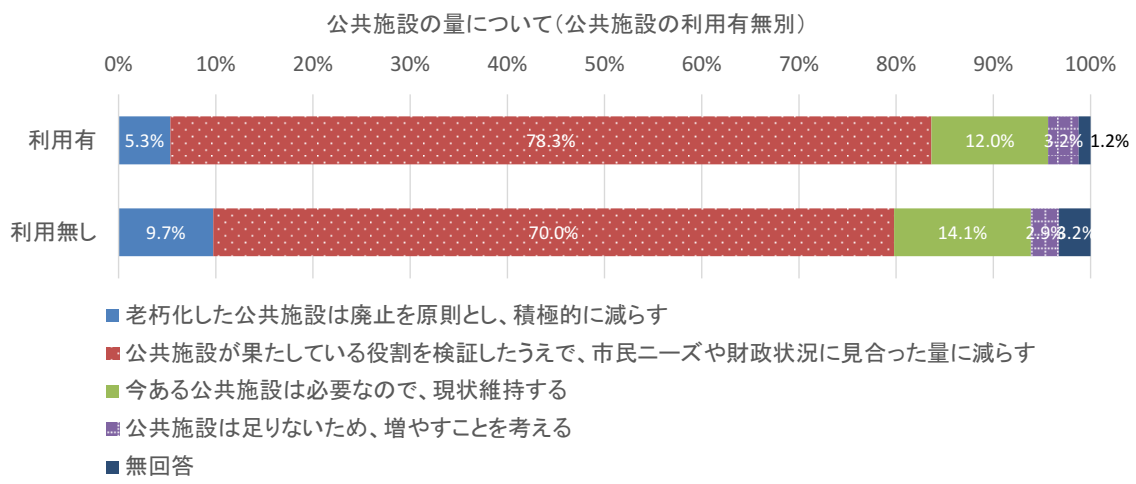
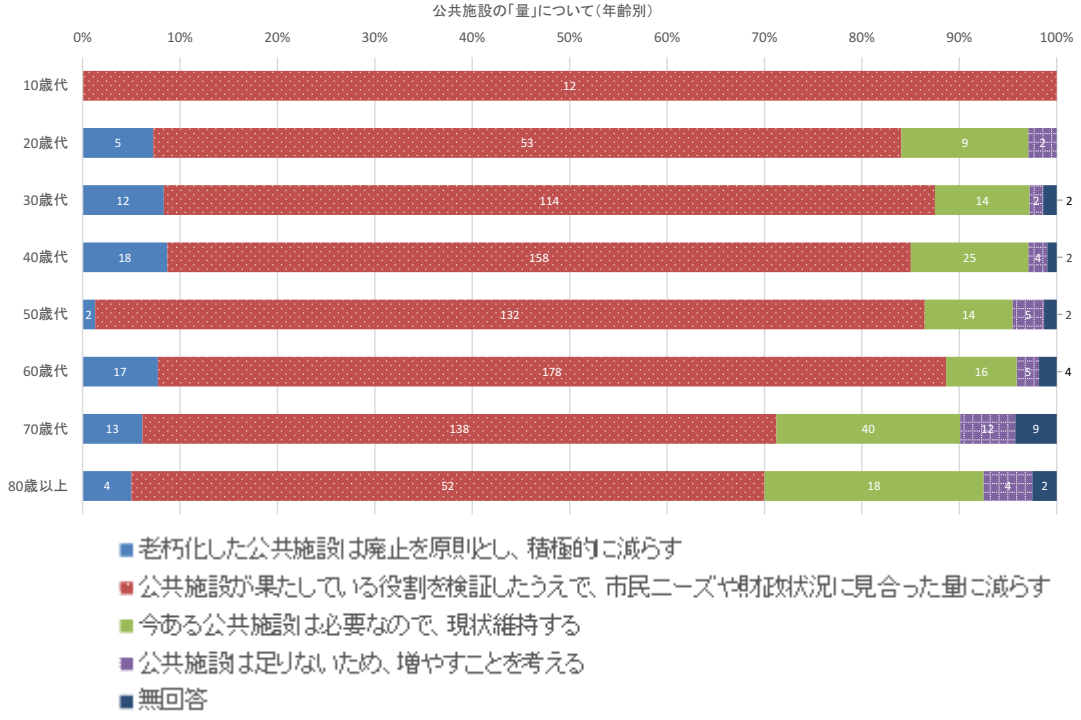
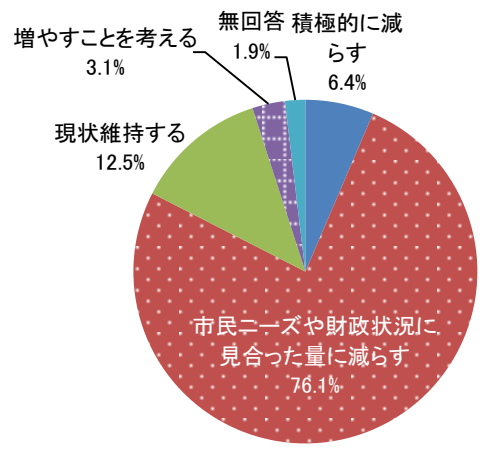


問11. これからの公共施設の「量」について、あなたの考えにもっとも近いものを選び、あてはまる番号1つに○をつけてください。

「市民ニーズや財政状況に見合った量に減らす」の回答割合が76.1%と最も高く、「積極的に減らす」(6.4%)と合わせると8割を超えています。

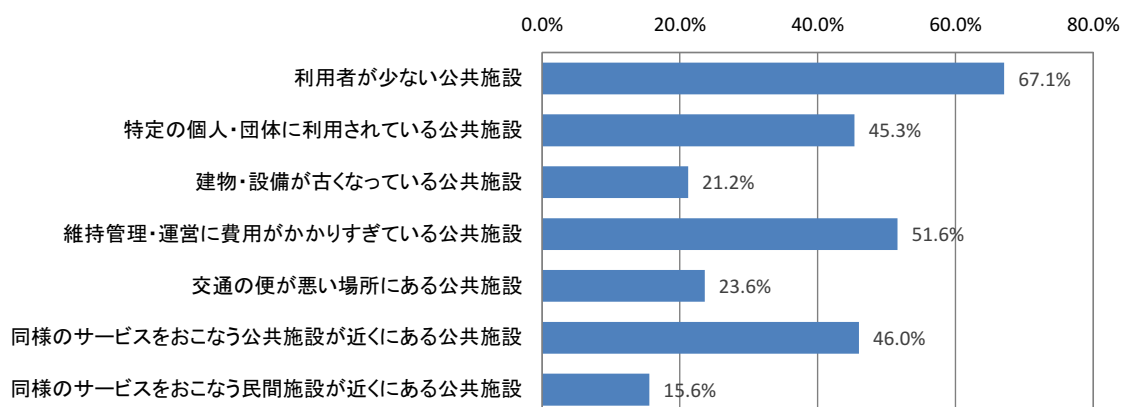
年齢別にみると、70歳以上で「今ある公共施設は必要なので、現状維持する」の回答割合が約2割と60歳以下の年齢層の回答割合より高くなっています。

問7の公共施設の利用履歴の有無別にみても、傾向に大きな差はなく、「積極的に減らす」「市民ニーズや財政状況に見合った量に減らす」の割合が高くなっています。



問12. 【問11】で「1」または「2」とお答えになった方のみ お答えください。
どのような状況の公共施設を減らせばよいとお考えですか。
あてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

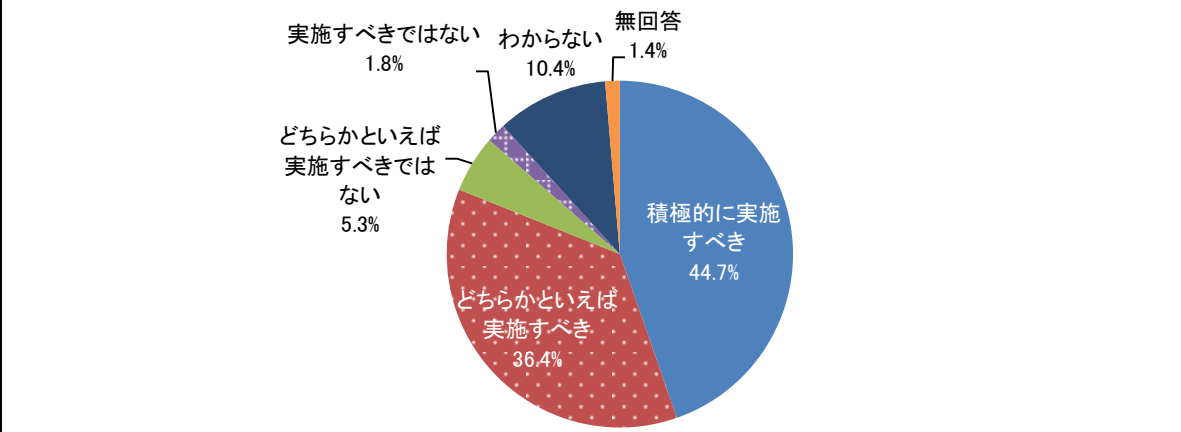
「利用者が少ない施設」の回答割合が67.1%と最も高く、次いで「維持管理・運営に費用がかかりすぎている施設」(51.6%)、「同様のサービスを行う公共施設が近くにある施設」(46.0%)、「特定の個人・団体に利用されている施設」(45.3%)となっています。



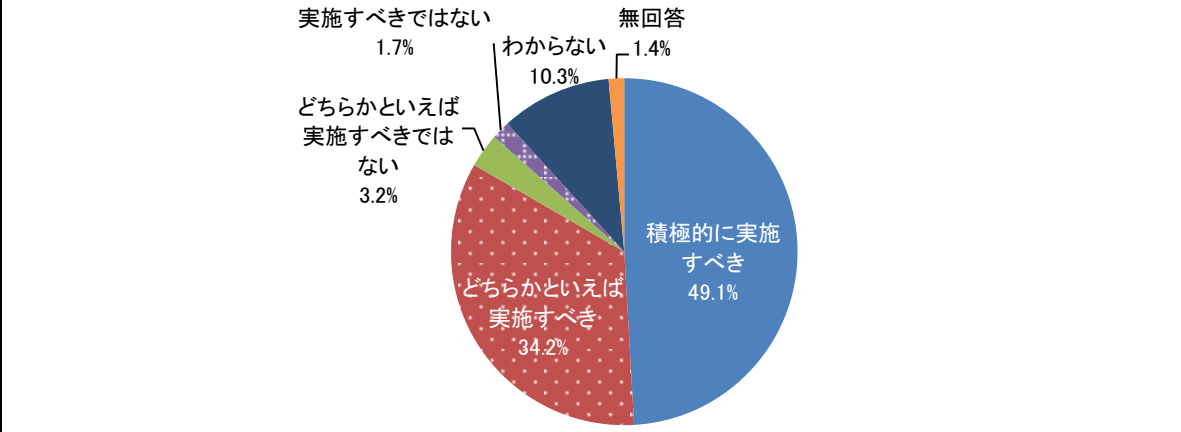
IV. 今後の公共施設のあり方について

将来にわたって安全で使いやすい公共施設を維持・管理していくためには、次のような方策が考えられます。これらの方策について、あなたはどのように思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを選び、あてはまる番号1つに○をつけてください。

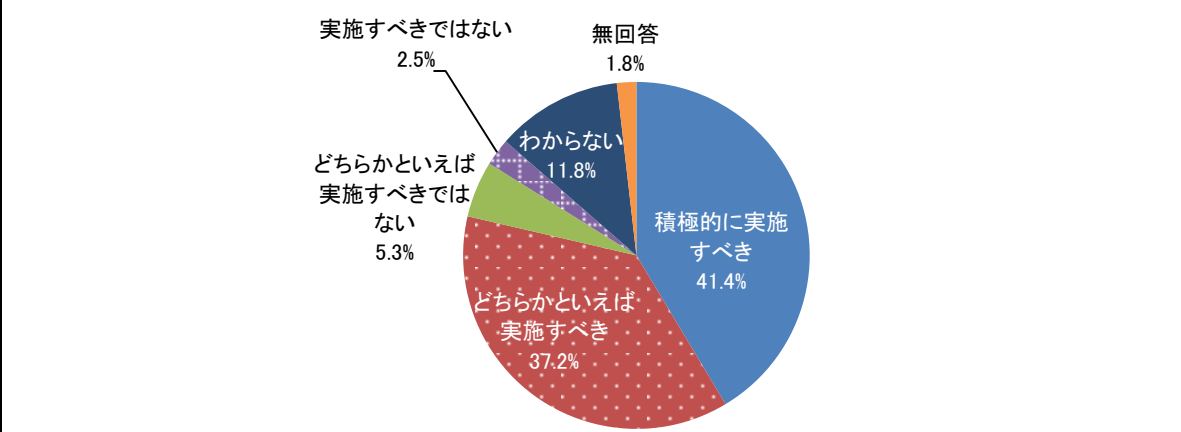
問13. 複合化・多機能化
ひとつの公共施設にいろいろな機能(役割)を集めることで、利便性が向上するとともに、市全体として公共施設の数が減り、維持管理にかかる費用が削減される効果が期待できます。このような方策について、どのようにお考えですか。



問14. 民間事業者との連携
公共施設の建替えや維持管理を行政だけで検討するのではなく、民間事業者や NPO と協働し、情報、能力、アイデア等を活用することについて、どのようにお考えですか。

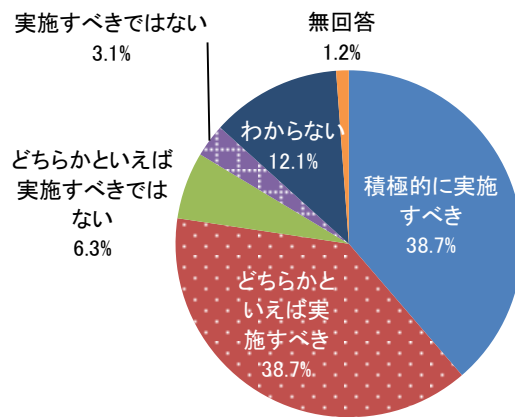


問15. 施設の長寿命化
建物を適切に保守・点検するとともに、耐久性を高めたり性能をひきあげたりするための改修工事をおこなうことによって建替え時期を遅らせ、建物を長く使っていくことについて、どのようにお考えですか。



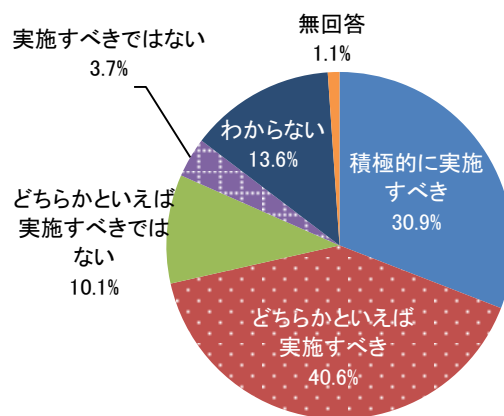
問16. 民間施設の利用補助制度

近くに利用できる公共施設がない場合に、公共施設と同じようなサービスを受けられる民間施設を利用すれば市の費用助成の対象になる等、公共施設のかわりとなる民間施設の利用をすすめることについて、どのようにお考えですか。



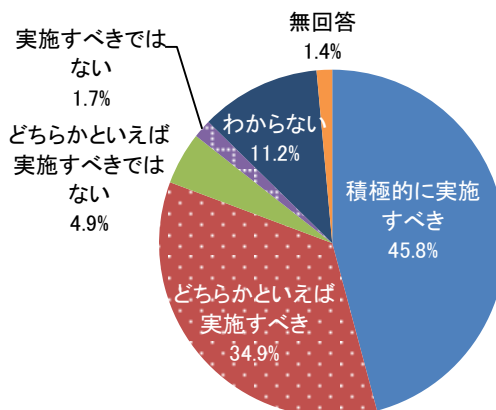
問17. 自由度の高い公共施設利用

公共施設の利用についての規制を緩和し、その使い方をより広げることで、施設を利用しやすくする方策について、どのようにお考えですか。
(例:公共施設での禁止事項を減らし、より自由度の高い使い方を可能にする)



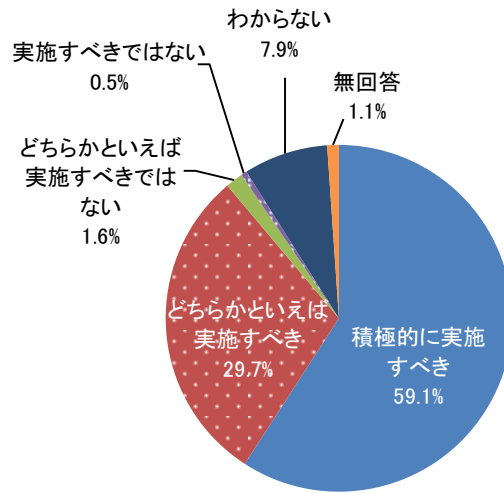
問18. 近隣自治体との連携

近隣の自治体と協働で公共施設を建設・運営することや、近隣の自治体にある公共施設を豊中市民が利用できるようにすることで、建設や維持管理にかかる費用を削減する方策について、どのようにお考えですか。



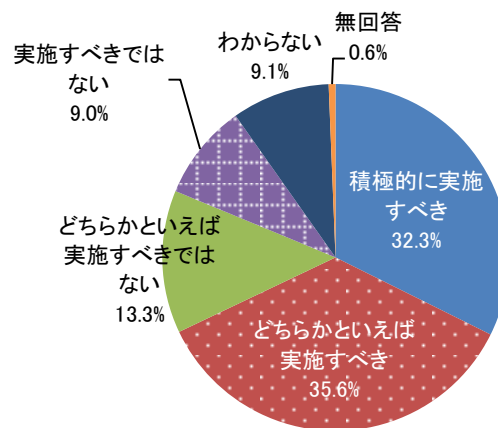
問19. サービス内容の見直し

公共施設で実施している公共サービスのうち、行政が担うべき内容について見直しをおこなうことについて、どのようにお考えですか。（例：設立当初は必要とされていた公共サービスに対する市民ニーズが変化し、利用者が減っている場合に、あらためてその公共施設の役割やサービス内容を見直す）



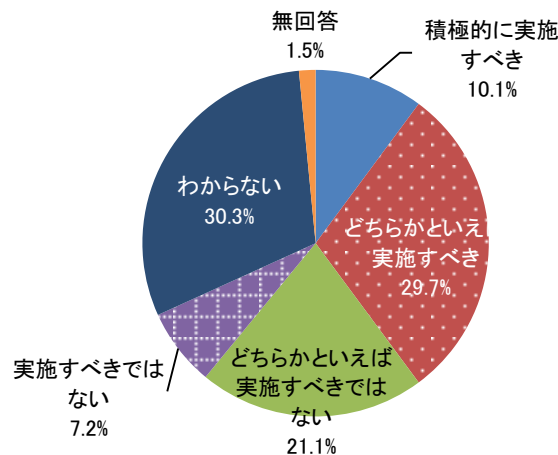
問20. 施設使用料の徴収

公共施設を使用する人と使用しない人の負担の公平化を図るという考え方から、施設を使用する人から使用料を徴収することについて、どのようにお考えですか。



問21. 施設予算の優先化

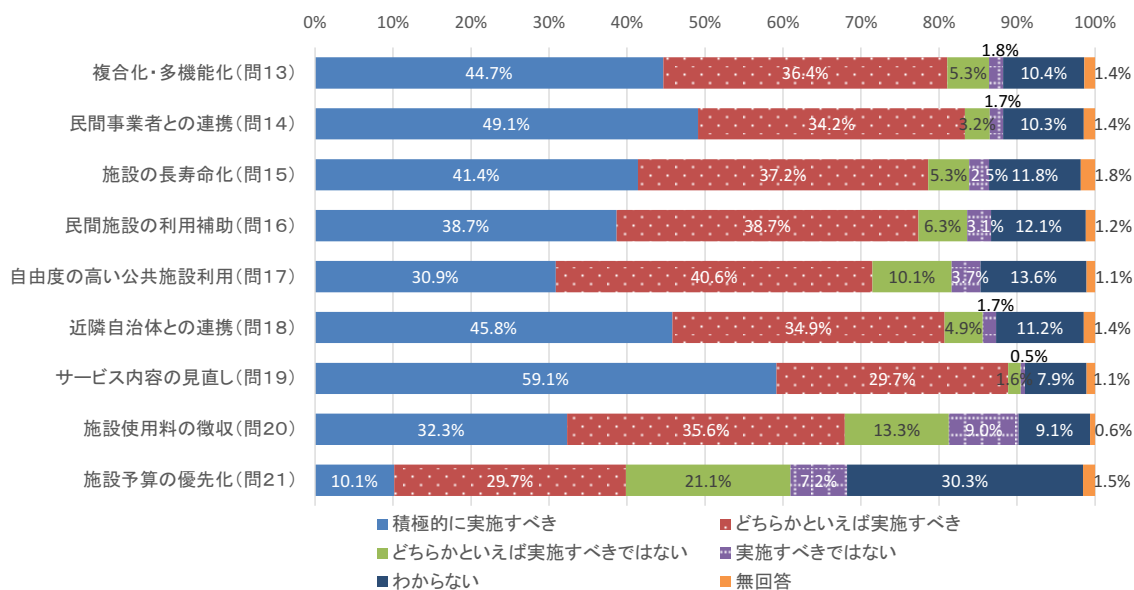
公共施設の大規模改修や建替えにあたって、他の公共サービスよりも優先づけて予算を配分することについて、どのようにお考えですか。



問13～問21 まとめ

「サービス内容の見直し」が最も必要な方策と考えられており、積極的に実施すべきとどちらかといえば実施すべきを合わせると88.8%となっています。次いで「民間事業者との連携」(83.3%)、「複合化・多機能化」(81.1%)、「近隣自治体との連携」(80.7%)となっています。

一方、「施設予算の優先化」については、実施すべきという回答の方が多いいものの、その割合は39.8%と過半数に満たない結果となっています。



問 2 2. 今後の公共施設のあり方について、ご意見があればお聞かせください。(任意)
※多数寄せられた施設に関するご意見のおもな主旨を記載しています。

(1) 公共施設のあり方(取組み方策等)について

- ・利用者が少ない施設は廃止・統合し、必要なサービスを充実するなど、必要性を検証するべき。
- ・利用者が少なくても、本当に必要とされる施設・サービスであるならば継続するべき。
- ・いろいろな機能が集約されている施設があれば利用しやすく、相乗効果も期待できる。
- ・大規模な建物よりも商業施設や駅の一角にあるような小規模の施設が使いやすい。
- ・公共施設の地域偏在を解消してほしい。
- ・駅前など交通の便のよい場所に配置すればよいと思う。
- ・近隣自治体の施設と相互利用ができるようにするなど連携をすすめるとうい。
- ・民間の力を取入れた運営によって、サービスを向上させてほしい。
- ・事業の継続性、利益優先などの点から民間が参入することに不安を感じる。
- ・人件費、維持管理費など無駄のない効率的な運営方法に改善してほしい。
- ・限られた財源を有効に活用するために、優先順位をつけて確実に取り組んでほしい。
- ・直接利害関係者以外の第三者による客観的な評価も導入すべき。
- ・大規模改修や建替えに向けて積み立てをしていけばよいと思う。
- ・災害時にも対応できるよう、耐震化・老朽化対策をしっかりと行ってほしい。
- ・老朽化に伴い、壊れたところは修繕するなど安全確保に努めてほしい。
- ・高齢者や障害者が利用しやすい施設となるよう環境整備(バリアフリー化)が必要。

(2) 公共施設の利用について

- ・公平に利用できることが大切。
- ・常連の人ばかりが利用している印象がある。
- ・初めて利用する人でも気軽に利用できる施設にすることが必要。
- ・利用者の交通手段を考慮し、駐車場等の整備も検討してほしい。
- ・駐車料金がかかる施設が多いように思う。
- ・開館日や開館時間を拡大してほしい。
- ・充実していて利用しやすいと思う。

(3) 利用料金について

- ・市民が利用しやすい料金設定にしてほしい。
- ・無料、または安い料金で利用できるのが公共の良さ。今のままであってほしい。
- ・社会的弱者については負担を軽減すべき。
- ・利用料金は、施設の特長や利用者層をふまえて設定すべき。
- ・施設を利用する人と利用しない人の負担の公平化を考慮し、使用料を徴収すべき。
- ・無料にすると使用者のモラル、マナー意識が低下すると思う。
- ・有料でも利用したくなる施設になるよう、設備を充実させてほしい。

(4) 公共施設に関する情報提供について

- ・施設の存在、内容や利用方法がわからないので、イベント情報等も含めわかりやすく PR すればよいと思う。
- ・情報誌のようにおしゃれで興味を持てるような媒体で周知すれば利用者も増えると思う。
- ・インターネットの施設紹介を充実して予約ができるようにするなど改善してほしい。
- ・各公共施設の利用者数や年間経費等を開示してほしい。
- ・施設の場所が地区別に一覧表になったものがあればよい。

(5) 今後充実させてほしい施設・サービスについて

- ・子育て関連施設、教育関連施設
- ・未就学児や小学生が室内で遊べる場所
- ・高齢者福祉施設
- ・文化、芸術関連施設
- ・スポーツ施設、子どもがスポーツできる場所、球技ができる公共グラウンド
- ・近隣の住民が気軽に利用できる憩いの場、コミュニティ作りの場
- ・清潔感があり、ゆったりとくつろげる空間
- ・放置自転車対策として、自転車預かり施設
- ・市民サービスコーナー
- ・学生や社会人が自習できる場所
- ・若い世代にも利用しやすい公共施設
- ・コンビニやカフェ、レストランなどと複合化された訪れやすい施設

(6) その他

- ・本当に市民が必要としていることを把握した上で公共事業を行ってほしい。
- ・何十年も前の施設を、そのままの目的で維持管理するのはもったいない。時代の変化とともに市民ニーズは変化していく。
- ・市民ニーズにあった公共施設とは何かということを常に考えてほしい。
- ・市民ニーズを調査するために、積極的に市民アンケート等を実施してもらえると嬉しい。
- ・ほとんど公共施設を利用したことがないのでわからない。